

東邦キャンパス

2009(平成21)年 6月24日
 発行 学校法人 東邦学園
 〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地
 TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931
<http://www.aichi-toho.ac.jp/>



静寂な時間が流れる…

「朝読書」から今日が始まる



学校から生徒と教員が5月の連休にやってきました。日本の伝統衣装を着て異文化体験をした若者たち。笑顔で記念撮影となりました。(関連記事 18 ページ)

再見! See you again! またね!

始業前に読書の時間「朝読書」が始まったのは、今年の4月。今日一日のスタートを読書で始めます。10分間、全校一斉におこなわれる読書の時間は、学内に静寂な時間を創り出しています。

おもいおもいが、選んだ本に没頭します。若者の活字離れが何かと話題となる昨今、思い切って読書に取り組みました。一日のけじめがつけられ、教員にも生徒にも好評です。「学力向上」を掲げ、さまざまな取り組みを意欲的に実践する東邦高等学校。授業時間も週2時間増やしました。「人格教育」を柱とした「東邦教育」の新たな試みが、着実に実を結びつつあります。

今日も静寂で張り詰めた時間が流れ、一日が始まりました。

姉妹校交流会、4カ国の生徒が集う

中国・NZ・オーストラリア・日本の若者が集いました。本校と姉妹校提携をしている



「名東の日」将棋大会に協賛

新入生歓迎行事

初対面から仲間へ

愛知東邦大学

▶▶▶ 経営学部

うち解けた雰囲気の新入生研修

経営学部准教授 中山 孝男

経営学部は新入生 173 人を迎え、4 月 2 日新入生研修を愛知牧場と本学の日進グラウンドで行いました。この研修は、新入生と教員、そして新入生相互の親睦を深めるための行事で、本学における学生生活をスムーズにスタートさせる大切な意味をもっています。大半が初対面の演習仲間同士でした。まずパーベキューでうち解け、次いで行われた綱引きとムカデ競争で力を合わせ優勝を目指しました。

この行事の運営にはサッカー部と野球部の上級生が協力してくれました。日頃練習を重ねている場所で新入生にこまかい指示を与える上級生の姿に、“成長”を感じることができました。



▶▶▶ 人間学部 人間健康学科

新入生オリエンテーション 心身の健康に関わる勉強が始まる

人間学部専任講師 長谷川 望

2009 年度人間学部人間健康学科新入生オリエンテーションが入学式翌日の 4 月 2 日に実施されました。

午前中は、山本学部長の挨拶からはじまり、大学や学部の教育方針、履修ガイダンスの説明や、ゼミ別ガイダンスがありました。新入生は緊張した面持ちで真剣に話に聞き入っていました。自分で学びたい授業を選び時間割を



初めて作成することもあり、期待と不安が入り混じっている様子でした。

昼食は、親睦会を兼ねて学内の生協食堂で会食。ゼミのメンバーや教員、入学前セミナーで知り合った友人、初めて会った同級生と最初は手探り状態でしたが、すぐに周りの人と話をしはじめ、交流を深める光景がみられました。人間学部で人間について学び、人と関わる仕事を目指すだけはあるなど感心するとともに、うれしく思えました。

午後からは、学生生活ガイダンスが 1 時間あり、新しい環境での 1 日のスケジュールが終了しました。

新入生には、一日も早く大学に慣れて、一人一人の目標に向かって、充実した 4 年間で過ごしてほしいと心から願っています。我々教職員は学生と向き合い、寄り添い共に取り組んでいきます。愛知東邦大学での 4 年間で一生の宝物になるように、進んでいきましょう。

▶▶▶ 人間学部 子ども発達学科

1・2年生合同オリエンテーション 表現力豊かな保育者を目指そう

人間学部准教授 矢内 淑子

4月2日(木)、人間学部子ども発達学科では、1・2年生合同オリエンテーションを愛知国際児童館と愛知県児童総合センターで行いました。2年生の実行委員8人は、保育者を目指して入学した新1年生



が、豊かな大学生活への第一歩を踏み出すことができるようにと、春休みを利用して名札やしおりづくり、ゲーム・ダンス・手遊びなど、後輩を迎えるための準備をしてきました。

交流会では、先輩学生が主導するプログラムが展開され、新1年生にとっても楽しい時間となりました。2年生にとっても、当日の運営や準備過程での協働作業など、実りある学びができました。

愛知県児童総合センターでは、春季特別企画として親子で遊ぶ「つなげる・つながる」をテーマに、大人も子どもも楽しめる非常に興味深い内容で開催されていました。学生たちは、1・2年生合同のグループに分かれて様々な遊びを体験し、親子で生き生き遊ぶ姿から多くのことを学ぶことができました。最後のまとめでは、学生の施設見学に関してセンター顧問の田嶋茂典先生との質疑応答がなされ、学生たちにとって心に残るオリエンテーションとなりました。

東邦高等学校

楽しかった学級合宿

1年学年副主任 藤澤 一郎

新入生恒例の行事である「学級合宿（オリエンテーション合宿）」を、4月22日(水)～24日(金)までの期間で、15クラス(600人)を第1団から第4団に分け、三重県の湯の山と岐阜県の恵那峡に分かれて、1泊2日で実施しました。バーベキューやレクのドッジボールや大縄跳びをした時には、歓喜の声を上げていた生徒たちも、学習会ではしっかりと自分の苦手科目に取り組んでいました。

それぞれのHRでは、キャンドル



サービスの中で自分の誓いを述べたり、自分の得意な芸を披露したり、有意義な一時を過ごしました。1泊2日という短い期間でしたが、生徒たちは多くの友人を作り、高校生活に対して新しい決意を誓うことができ、名古屋に戻って来ることが出来ました。

巣立ち… …新たな始まり

▶平成20年度大学卒業式

充実した4年間、そして未来へ旅立ち



愛知東邦大学第5回卒業証書授与式が3月18日(水)名古屋国際ホテルで行われ、大学経営学部の111人が卒業しました。

榊理事長は祝辞で「真に信頼して仕事を任せられることのできる人」「真面目な人格の育成」という本学の建学の精神について話し、「社会で仕事をまかせられる人になってほしい」と卒業生にエールを送りました。

卒業生代表の原政人さんは答辞の中で大学生活を振り返りました。2年生のインターンシップで企業に職業体験に行き社会の仕組みや厳しさを学んだこと、アメリカ短期留学を経験し、普段気づくことのできなかった友人・家族とのつながりに気づいたこと、そして就職活動で先の見えないゴールに向かって全力で走り続けたことなど、「充実した4年間であった」と語りました。

式後、同ホテルで行われた卒業祝賀パーティーは、晴れやかな姿の学生と教職員の笑顔で溢れていました。

▶平成20年度高校卒業式

思い出をたっぷり残して

東邦高校の第60回卒業証書授与式が、2月28日(土)に本校体育館にて挙行されました。

当日は、体育館に教職員・在校生・卒業生の父母約500人が待つ中を、卒業生575人がA組より緊張感を漂わせながら整然と入場しました。全員による校歌が例年になく大きな声で歌われ、卒業生の思いを大いに感じました。卒業証書の授与は、厳かな中にも晴れやかな雰囲気の下で行われ、卒業生一人一人が自分の高校生活を噛みしめるような表情が伝わってきました。

在校生代表の生徒会長渡邊汐里さんの心温まる送辞に対し、卒業生からは拍手が送られました。卒業生代表の黒木瑠莉さんの答辞は、卒業生の心をよく反映したもので、将来の自分たちへの活躍の誓いとなり、場内からはすすり泣く声も多く聞こえました。厳粛な式典の中に心温まる内容を含んで式は終了しました。

式後は、各教室で最後のHRが各担任による饞の言葉を受けて、クラスメイトとともに名残を惜しみました。その後中庭において、恒例となっている部活動の生徒や在校生による卒業生の追い出しが華やかに行われ、後輩などに見送られ、3年間の思いを噛みしめながら校門を離れていきました。



大学卒業記念品は「テーブルセット」

平成20年度の卒業生より卒業記念品「テーブルセット」が大学に贈呈されました。新しいふれあいの場になることを期待し、S棟ロビーに4セットが設置されました。

名東区民まつりでは地域の人の憩いの場に



高校卒業記念品 ウォータークーラー

2008年度の高校卒業生から卒業記念品としてウォータークーラー2台が贈呈されました。

1台は運動場に、もう1台はオーバルランチルームに設置されました。後輩たちが体育授業の後や部活動に際しておいしい水を飲んでほしいとの願いから――。



▶平成21年度大学入学式

今日から学生と呼びます！

大学構内の桜は、まだ三分咲きでした。スーツ姿がなんとなくこちない291人の新入生、愛知東邦大学の入学式が、大学アリーナで行われたのは、4月1日。新入生に付き添う保護者も少なくありません。式終了後、「ここで、写真を撮ろうよ」と、校門にしつらえられた看板「入学式会場」の横に立つ我が子にカメラを向ける保護者――。

山極完治学長(経営学部教授)は、新入生に向かって「今日から学生と呼びます」と学生の自覚を促し、学園の歴史に触れながら「東邦学園は生まれながらにして教育重視の学園」であり、学ぶ事に意欲的に取り組むよう呼びかけました。「今日から4年後、今の自分と大きく違う新しい自分を目指し、飛び立って欲しい」とも。

成長と飛躍そして変革を成し遂げた少なくない在学生の中から、3人の活躍事例を具体的に紹介されたのは、榊直樹理事長でした。新入生にも、彼ら3人の後に続くよう、期待を込め、お祝いの言葉をかけました。

入学式式典序曲は愛知東邦大学吹奏楽団が演奏しま



した。従来は、兄弟校の東邦高等学校吹奏楽部の演奏によるものでしたが、新たに結成された自前の楽団の演奏となり、同窓会長・理事を始めとする来賓や教職員ら式典参加者の耳目を集めました。

▶平成21年度高校入学式

600人が期待をふくらませて

平成21年度入学式は4月4日、新入生599人を迎え、本校体育館で行われました。集合は午前9時でしたが、開式を待ちわびるように1時間前から登校する姿も見られ、本校への期待の大きさを感じさせました。

吹奏楽部が後輩の入学を祝って奏でる中、式典が始まり、榊直樹新校長が式辞を述べました。榊校長は「世界を揺るがす経済の大混乱が起きている。創設者下出民義先生が掲げた『真面目な実業人の育成』の重要性は、一層認識されるに違いない。自分が将来何をしたいか、どんな仕事に就きたいかじっくり考えながら学んでほしい。課外活動を通じて仲間と触れ合い、助け合って、友だちを作って下さい。自ら誇らしげに話せる学校にしましょう」と期待の言葉を送りました。

これに対して水谷江里さん(尾張旭西中出身)が新入生を代表して誓いの言葉を述べ、新入生一同心を新たにしていました。

式後、各教室で新任からクラスの方針や高校生活における心構えなどについて話があり、新たな夢と希望を持つことができました。

▶東邦高等学校

4月から 榊 新校長に

榊直樹先生が校長に4月から就任しました。先生は32年間、新聞記者(毎日新聞=政治部デスク、論説委員等)をしていました。学園常務理事を経て、2008年度から理事長(現在2期目)。

毎朝、7時45分には校門に立ち、「おはようございます」と生徒諸君に声をかける姿があります。記者時代のフットワークのよさで、明るく元気よく東邦教育の先頭に立っています。

大学の行事

初めての「福祉施設実習」

人間学部子ども発達学科教授 神戸 賢次

本学に子ども発達学科を開設して初めて、2年次の保育所及び福祉施設実習を実施しました。入学当初、「子ども発達学科に入学した動機は」と問うと、「子どもが好きだったから」とか「保育園か幼稚園の先生が夢だったから」など、大半が保育所・幼稚園をイメージした職業観でした。しかし、この2年間の「児童福祉論」「養護原理」「障害児保育」等の講義での学びを通して、保育士の仕事には保育所だけでなく、乳児院・児童養護施設・障害児施設・児童館などもあることを知り、学生の職業選択の幅が広がりました。

この福祉施設実習は、原則宿泊実習で、対象が0歳～18・19歳の乳幼児～高校生、障害を抱えた年齢幅のある家庭的・専門的支援の必要な子どもたちで、実習学生であっても適切な保育士助手としての専門力量が期待されます。また、学生は慣れない宿泊実習に加え、第一期生であるがゆえの計り知れないプレッシャーがあったと思われます。

それでも、子ども発達学科学生54名は、施設生活をする子どもとその家族の養育上の問題や、被虐待児の心のケア、ADHDなどの発達障害を抱えた子ども支援についてとりくみ、福祉施設の先生方からのご助言・指導を受けながら、多くの体験的学びを深めることができました。

この福祉施設実習を通して、学生たちは、何を学び、どのように変わったのでしょうか。また、職員の働く姿勢、福祉に対する考え方などに触れ、保育士という職業の大切さをどのように理解したのでしょうか。これまでの家庭や学校で援助される側にいた学生が「他者のために生き、働く」ことの生きがいのようなものを学び

取ることができました。その変化に指導に当たった教員自身が驚いています。保護者の皆様もそうではないでしょうか。

学生たちは着実に保育士資格に必要な知識・技術・職業倫理を学び取り、子ども・家庭支援、地域の子育て支援の課題に対応で



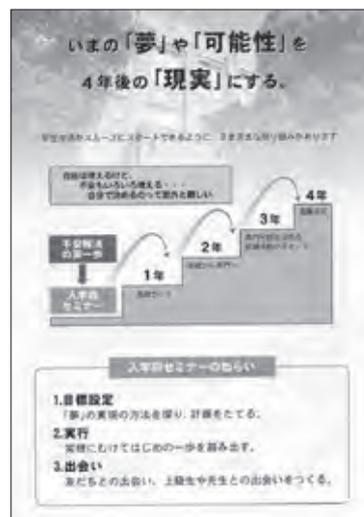
きる専門的力量を身につけつつあります。

これからも子ども発達学科の学生をはじめ、本学の保育士養成教育へのご協力をお願いします。

愛知東邦大学の「入学前セミナー」

人間学部人間健康学科教授 澤田 節子

これから始まる大学生活をより充実したものにして欲しいとの願いから、入学予定者全員を対象にセミナーが開催されました。これは入学前に大学生活への不安を和らげ、大学への期待感を引き出すことが目的です。



セミナーは「集合セミナー」と「個別面談」に分けて行いました。集合セミナーでは、外部の専門家の協力を得て「大学生になる！」というテーマで、解り易く話していただきました。その後、グループワークや在学生との交流の中で、緊張した気分も和らぎ、在学生が語る話題に進むべき道を見出し、同じ仲間になれるという実感も湧いてきたようです。

また、個別面談は、入学者の就学目的、将来の進路、悩みなどを個別に話す機会を設けることにより、大学生になるという自覚を促すものです。個別面談では、聞き手が経験豊かなキャリアカウンセラーであったことから、学習動機や学習習慣など踏み込んだ内容の話もできたようです。

このセミナーは、高校から大学への円滑な適応を支援するためのもので、彼らにとっては、大学での学びや大学生活のイメージ・アップができると共に、友達づくりの機会にもなったのではないかと考えられます。

学内企業展を開催

学務部就職課 池田 暁生

2月17日から2月19日までの3日間、学生が運営する就職支援グループ「東邦職Do!!」が中心となり、地域

経済を活性化してきた地元有力企業や、学園関係企業の人事担当者を招いた「学内企業セミナー」を実施し、また昨年度に続き「学内企業展」も開催しました。

学内企業セミナーは今年で6回目の開催となり、本学のこの行事に賛同していただく企業様も増えてきました。人事担当の方から「東邦のために日にちは確保している」とのお声を頂くと、これまでの学生たちの取り組みが評価されているのだと実感しました。また、学内企業展は、昨年初めて実施し、最終的には延べ29社からご協力をいただき嬉しい悲鳴をあげました。今年は、不況下ではありましたが、それでも最終的には26社のご協力を頂く盛況振りでした。

開学8年目を迎え、卒業生はこの春で第5期生を輩出しました。参加企業の中には、本学の卒業生も採用担当者として参加し、後輩の就職活動の支援をしてくれる光景も見られました。卒業後も本学の教育活動に携わってくれる卒業生を見て「縁」を感じることができました。昨年末からの先行きの見えない経済不況を前に、参加学生の表情には不安も感じられましたが、いざブースに座ると積極的に話をする学生と人事担当者との真剣な表情に、厳しい就職環境でも、意欲的に活動する学生は必ず望ましい就職先が見つかる確信しました。今後も学生自身が「働く意義」を考え、自ら行動できるよう、今回のような実体験を通じた教育の場を増やしていきたいと思えます。ご協力を宜しくお願い致します。



2009年度高大連携授業スタート

愛知東邦大学と東邦高校との高大連携授業が4月13日から始まりました。大学の教員による授業を1年間高校生が受講します。右表は2009年度の授業テーマの一部です。

生徒に人気のあった授業の一つ「心のキャッチボールを楽しもう」について、担当の堀先生に授業内容を伺いました。

堀 篤実先生(談)〔大学では臨床心理学などの科目を担当〕

「心のキャッチボールを楽しもう」というテーマで、自分を理解し、相手を理解し、より上手く気持ちを伝えあうための演習を行いました。

感じ方、考え方は人それぞれ違い、それが個性あるいは癖というものです。しかし、この個性、感じ方の違いに気づかず、私たちはつい自分の価値観や思い込みで周りを判断しがちです。この自分のこころの癖や個性を感じるために、自分がおこないやすい思い込みについて考えてみたり、そうした場合の発想の転換について考えてみたりしました。また、自分が周りからどのように誤解されやすいかということや、周りの人を自分が誤解していないかについて振り返ってみたり、自分の思いをうまく伝える、相手の思いを引き出して読み取るコツをつかむためのグループワークを行いました。

2009年度高大連携授業テーマの一部

アメリカの文化と社会
株式投資で経済を実感しよう
わが国の法制度
紙に親しむ——折る、切る、貼る
コンピュータって何だ? <Linuxの世界>
福祉のこころ
保育教材を楽しみましょう
「学校の先生」とはどういう職業か
コミュニケーションとダンス
歌う楽しさ
ニューススポーツのすすめ
グループエンカウンターを体験する
人間生活と心理学—心理学は役に立つ?
日本語の絵本と英語の絵本を比べてみよう
言語学を学ぶ楽しみ
働くルール その必要性
自分を知ろう
子どもとはどのような存在か
人と関わりつなげるために
価値観と人の幸福(福祉哲学)
メンタルトレーニングの理論と実践
実体経済と金融経済

高校の行事

青空と自然を満喫した遠足

2年学年主任 加藤 元雄

2年生の遠足は、八曾自然休養林(A D K M)、くらがり溪谷(F G N)、馬籠・妻籠(C O)、リトルワールド(B E H I J L)の4カ所で行いました。半数のクラスはバーベキューをし、火おこしに苦労しながらもおいしそうに食べました。天気にも恵まれ、全員無事に帰着しました。

この遠足には南京外語学校からの留学生も参加しており、初めてのバーベキューを経験しました。その感想文を紹介します。

王鵬程

中国ではなかなか経験したことがないBBQをやりました。熱くなった鉄板の上に新鮮な牛肉やソーセージをのせ、少し黒くなったらすぐ鉄板から取り出して、ソースをつけ、口に送って…なによりのご馳走でした。

全程

緑に囲まれたくらがり溪谷で、みんなで協力して火をつけました。うれしい気持ちで胸一杯になりました。まもなくおいしそうな臭いが煙と一緒に流れてきました。料理を食べながらいろいろなことを話し、時間は速く流れたが、今日の楽しさは写真と一緒に永遠に残りました。



3年生遠足(さわやかに散策)

3年学年主任 中林 幹雄

3年生の遠足は、A、B、C、H、Jが彦根～長浜、D、E、F、I、Nが三十三間堂～清水寺、G、K、L、Mが化野念仏寺～嵐山の3グループに分かれて、新緑の鮮やかな滋賀・京都へ行ってきました。やや肌寒かったものの、散策には最適で、彦根城・琵琶湖畔、古都の風情を楽しみました。彦根城や古寺の内部を見学し、グループに分かれて、買い物や新しいクラスの仲間との交流もできました。



新緑鮮やかな京都・清水寺

東邦で個性を見つけた——

東大教員に

東邦高校普通科を卒業(平成9年卒)後、1年間浪人し、富山大学の理学部に進んだ森長真一君、卒業後さらに九州大学大学院にすすみ、現在は日本学術振興会特別研究員。

愛教大付属中学を卒業後、東邦高校に進学し、春日井から自転車通学をした頑張り屋。先日、高校を訪ね、近況を報告し「東京大学教員になる」との報告がありました。森長君は、「自分の現在は東邦に入学したことが大きかった。自分の個性がどんなものかを、発見したのはこの時代だった」と。



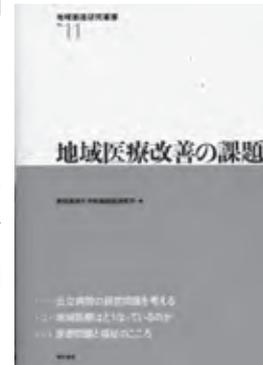
地域創造研究所から



地域創造研究所長 井上 秀次郎

地域創造研究叢書No.11の発刊

研究所では、唯学書房（東京）から年間2冊ずつ「地域創造研究叢書」を発刊しています。3月30日には、同叢書No.11『地域医療改善の課題』を発刊しました。本書は、研究所の受託事業である愛知県半田市を中心とした超党派の市町議会議員さんたちによる勉強会「半田市政研究会」の自治体政策研究の成果。昨年秋に愛知東邦大学と「フレンズ・TOHO」との共催で開催した地域問題の講演会「医療問題と福祉のこころ」とシンポジウム「地域医療はどうなっているのか」を収録。資料「医療経営の現状」も掲載しています。



シンポジウム「下出父子と東邦商業学校」を開催

研究所の東邦学園下出文庫による主催で、シンポジウムと資料展示会が1月31日(土)開催されました。副題は「第2次大戦下の学校生活を中心に」です。参加者には「東邦学園



総合年譜」や「名古屋圏における工業近代化期の課題と経過 - 下出民義・義雄父子の役割を中心に」



なども配布されました。発言者や参加者のなかには、東邦商業の卒業生や学校関係者、市民など東邦商業時代の縁ある人たちの顔も多数みることができました。

『名古屋市史』チームが資料調査

5月21日、『名古屋市史』近・現代史チームの専門委員5人が、朝から夕方まで本学地域創造研究所の資料調査に訪れました。お目当ては「東邦学園下出文庫」資料。今回収集された資料は、同市史の資料編に収録される予定です。来られた委員によると、本学の「下出文庫資料」は、第2次大戦中の資料としては国立国会図書館に匹敵する量と内容だということでした。同日中に見きれなくて、5月27日にも追加調査に來られました。



下出文庫調査中の名古屋市史チーム

別 辞



共に学んだ3年半

大川 殷生(元大学教授)

愛知東邦大学での3年半は、電光石火とあって良い位あっという間に過ぎてしまったというのが実感です。実務社会から学問の世界へ入り、それこそ戸惑いの日々でしたが、フレッシュそのものの学生諸君と共に学んだ時間であったというのが現在の偽らざる心境です。学生諸君からはいろいろな事を教えられました。「若さ」は何物にも変えがたい貴重な「宝」です。そして無限の可能性を秘めています。この有り余る可能性をどのように伸ばしていくのか、大学での4年間は本当に大事な時間です。大いに目を見開いて、「志」を持って大学生活を送って欲しいと思います。そのための手助けが思うように出来なかったという反省ばかりが頭を過ぎりますが、入学してきた学生諸君が一年また一年と成長していく姿が目焼きついています。大いなる可能性を秘めて、愛知東邦大学の学生として、胸を張って社会に羽ばたいていく日を期待しております。



かけがえのない体験

戸崎 賢二(元大学教授)

2002年4月に東邦学園大学に就職して以来、7年間お世話になりました。放送局を定年退職してからの「第二の人生」ということになりましたが、私の中では第二の人生どころではなく、授業に学生対応に懸命に取り組んだ7年間でした。振り返ってみてもうまく行ったことは少なく、学生にも教職員の方々にもずいぶん助けもらった、という感じがあります。なによりも学生諸君の授業の感想が私を励まし、慣れない教師の仕事の続けさせてくれたものと思います。それにしても、青年たちの成長の場に立ち会えた体験は、かけがえのないものでした。その経験からも、学生を主人公にした大学づくり、学生の要求と声に学ぶ大学運営をぜひ強めていただきたい、という願いを最後にお伝えし、これからも愛知東邦大学を及ばずながら応援してゆきたいと考えます。



充実した8年間に感謝

森 靖雄(元理事・大学教授)

本学開学以来6年間経営学部長、続く2年間地域創造研究所長をつとめて定年を迎えました。「新しい大学をつくる」という稀有な機会に恵まれた8年間でした。研究所も文部科学省基準に合う体制への改善整備を完了。所長就任直後に50年ぶりに再発見された下出義雄氏旧蔵資料約14,000点を、学内外研究者らのご協力も得て整理し、『東邦学園下出文庫目録』を発刊。資料の一部は早速『愛知県史』や『名古屋市史』にも収録されました。

愛知東邦大学は、経営学部創設期招聘教員の退職、2学部体制の確立、受験生の減少と質的变化が重なって転換期を迎えています。あと1年間は財政的にも窮屈ですが、困難な時期は発展の準備時期でもあります。この時に退職するのは心残りではありますが、今後は応援団としてお手伝いします。ご支援有難うございました。



ありがとうございました

志水 廣己(元理事・高校教諭)

東邦高校が「赤萩」から「平和が丘」へ移転したその春に、理科教諭として採用していただきました。

大学での専攻は「地球科学(地震学)」でしたが、東邦高校は『地学』が必修科目として置かれる数少ない高校でしたので、すごく張り切って授業に臨みました。また、高校の防災教育にはささやかな貢献ができたと自負しています。

一方、部活動は最初の十年間は未経験の山岳部担当となり、正直四苦八苦でしたが、今では数少ない趣味のひとつになりました。その後、放送部・バトン部担当となりましたが、門外漢の私には、生徒たちに寄り添って話し相手になることが「顧問の仕事」でした。

38年間、何とかここまで勤めてこられたのは、皆様方のご指導ご鞭撻あつてのこと、心から御礼を申し上げます。



学校を背負っていくということ

岡田 保(元高校教諭)

もう37年経ってしまったのか、と感慨深いものがあります。1972年というのは、本校が東区赤萩の地からここ平和が丘に移って2年目の年、短期大学はすでにありましたが、当時の建物で今残っているのはB棟の扇形校舎くらいでしょう。周辺地域も区画整理事業がまだ終わってなくて、整地されたばかりの空き地を一社駅からまっすぐ東邦高校まで歩いて来ることができました。マラソン大会も、近隣の公道をコースに実施していたほどです。

まだ駆け出しの頃、大先輩の先生から「いずれ学校を背負っていくためにもっと勉強しておきなさい。」と言われ、「役職につく＝出世などは自分とは関係ない!」と何となく反発を感じたりしたものでした。しかし、経験を積むごとにいろいろな仕事を任せられるようになります。「仕事が回ってくることは期待されているということ、ありがたいことだ。」と思い、必死でこなしてきました。

今、若い先生方に物言う立場になってみて思います。誰がどのポストにつくのかと言うことではなく、その年代で支えあって学校を背負っていくということ、そのために自分はどんな役割が果たせるのか、どんな力を蓄えていくべきなのか、それぞれの年代に応じて意識して仕事を身につけていってほしいのです。



春の陽差しのなかで

佐竹 久美子(元高校養護教諭)

春の陽差しを浴びて部活の生徒たちのかけ声が運動場にこだまします。

このすがすがしい新校舎の風景を惜しみながら、18年間お世話になった高校を定年退職いたします。

前任者より受け継ぎ、右往左往しながら時には壁に突き当たり、時には崖淵に立たされながら、それでも一步一步歩んで参りました。

先日、保健室運営について、保健室内で振り返る機会がありました。「本当にあの時はたいへんだったけれど…」「もしあの時、あの行動をとらなかったら…」、運営の転換を図るときは、大きなエネルギーがいります。しかし、「小異を捨てて大同につく」です。物事の本質を見極めることがいかに大切かを知らされた出

来事でした。

これからもこの事を忘れず、何が今一番必要なのか? 今何をすべきなのか? を常に自分に問いかけていきたいと思っています。これからは、大学保健室で勤務につきます。この職業が天職と納得できるように、養護教諭の仕事成全うしたいと願っています。



万感の思いをこめて…

石黒 由高(元高校職員)

「ありがとう」の言葉は、感謝をあらわす言葉。東邦高校にお世話になった37年間をふりかえれば、すべてがこの一言に集約される。この間にかかわってきた事柄、その折々に手を差し伸べてくれた先輩や同輩そして後輩。その中には、すでに鬼籍に入られた方も…。

多くの方々にお世話になりっぱなしで、なにひとつその恩のお返しができなかった。

恩の因は、「いつくしむ」こと。思い返せば、いつもいつも周りの人にいつくしみの心を与えられて過ごしてきた。今の時点で私にできることといえばたった一つ。

万感の思いをこめて「ありがとうございました」との感謝の言葉。



感謝

室 敬之(元大学職員)

2年間という短い期間ではありましたが、とても中味の濃い充実した2年間でした。東邦学園では、たくさんの事を勉強させていただきました。こちらで経験させていただいたことは、私の今後の人生において大いに役立つものと思います。今後の貴学園の益々の繁栄をお祈りいたします。

その他退職者 梶野健一郎(元高校教諭)
鶴見 良道(元高校教諭)
森 広和(元高校教諭)

おくやみ

深谷 儀敬氏(愛知東邦大学学務部長)

2009年4月30日永眠(57歳)

新入教職員紹介

一言アンケート

- ①本学園就職の動機について
- ②趣味または私的に打ち込んでおられること
- ③今後の抱負について



杉浦 利成

所属:大学経営学部

出身地:名古屋市

- ①前経営学部の大川教授からのご推薦で2年間大学の非常勤講師を務め、今回経営学部教員の一員として就任しました。
- ②健康増進のために“ゴルフ”、ボケ防止のために“将棋”、異業種交流としての“PHP友の会活動”等ですが、最も好きなことは気の合った仲間との“飲みニケーション”です。
- ③旅行業から教育の世界への転身であり、右も左もわかりませんが、諸先輩のご指導をいただきながら全力投球で臨みます。ビジネス界での経験を生かし、学生と共に成長できるよう努力し、本学発展に微力ながらお役に立てるよう頑張りたいと思っています。



今尾 雅博

所属:大学経営学部

出身地:名古屋市

- ①私は今は桑名に住んでおりますが名古屋生まれの名古屋育ちです。本学園は名古屋の伝統ある学園であり、立地条件も素晴らしい。大学はコンパクトで創立も新しいが、その分将来性豊かです。
私の専門は経営学（マーケティング）であり、学部も一致しているので応募しました。
- ②名大でヨット部に入り、現役時代は主将も務め、卒業後もコーチ、監督も務めました。教員となって名古屋学院時代は部長も務めました。今は時々母校の後輩の応援にかけつける程度です。また、下手の横好きですが短歌とゴルフを少々。そちらは同好の士にお導きを。
- ③米英2回の在外研修の機会に研究のみならず教育についても関心を持ちました。皆様方と共に東邦学園の発展に少しでも貢献できればと存じております。



浅野 和也

所属:大学経営学部

出身地:静岡県

- ①3年ほど前から非常勤講師としてお世話になっておりましたが、今年度からご縁があり、専任教員として着任することとなりました。
- ②読書や映画鑑賞、芝居を観たり、美術館に行くことが好きです。
- ③月並みですが、皆さんと大学のハウレンソウ（報告・連絡・相談）を育てながら、学生の知的好奇心・豊かな人間関係の形成に少しでも貢献できるように取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。



手嶋 慎介

所属:大学経営学部

出身地:岐阜県

- ①岐阜市→名古屋市→津市と移り住み、名古屋に戻ってくることになりました。名東区には、学生時代を中心に14年間住んでいました。私にとって想い入れの強い学びの地に足をつけ、教育・研究活動を通じ貢献していきたいという思いを強く持ったことが動機です。
- ②新製品のお菓子類にはつつい手が伸びます。最近、しみこみチョコを頬張りながらインターネットで激安商品の探索に夢中です。そのため、歯科や眼科への定期的な通院などの健康管理に力を入れています。
- ③大きなことは出来ないかもしれませんが、目の前の学生への支援に全力を尽くしたいと思います。



宮本 佳範

所属:大学経営学部

出身地:愛知県

- ①大学時代、母校で教育実習を行って以来、教育職に就くことは夢でした。そして、本校には、学生との距離の近さ、教育への情熱、そして教員・職員が一体となって学生を思いやる雰囲気があるところに魅力を感じ、ぜひ一員となって働きたいと思いました。
- ②アジアの一人旅、海での素潜りや登山が趣味です。また、これからは気軽にテニスでもやりたいと考えています。
- ③会社員から教員へと転身し、本校に奉職することになった今、諸先輩教員の講義の仕方、学生とのコミュニケーション方法などを学びつつ、学生が満足して卒業できるよう尽くしたいと思います。



田植 由衣子

所 属: 高校英語科

出身地: 岡崎市

- ① 東邦高校は、生徒数の多い「活気のある学校」という印象を以前から抱いていました。そのような活力あふれる東邦高校で働いてみたいという思いから、この学園で働くことを志望いたしました。
- ② 昨年、オーストラリアで日本語教師アシスタントとしてボランティア活動をしていました。豪州の子供たちは日本に対しての関心が大変高く、今でも子供たちとの交流を続けています。日本人にとっては何ら珍しくもないもの(例えば、卵焼き用の長方形フライパンなど)にも驚かれたりすると新鮮な思いがするものです。
- ③ 活気あふれるこの東邦高校で、皆さんと色々な思い出を作っていきたいと思っています。卒業しても記憶に残るような「アツイ場面」を一緒に共有していただけたらと思います。



牧野 雅司

所 属: 高校社会科

出身地: 愛知県

- ① 地元の高校で教員になり、歴史を教えることが夢でした。東邦高校は生徒の元気な姿が印象的で、そこに魅力を感じました。
- ② 古いものが好きです。東邦高校の隣にある平和公園には古い石塔がいっぱいあります。まずは平和公園を散歩することから始めようかと思っています。
- ③ 今は仕事を覚えるのに精一杯ですが、今後は授業を行っていくなかで、現代社会や地域の歴史を授業に取り入れていきたいと考えています。社会科で習っていることが、今を生きている自分と大いに関係しているんだということが実感できるような授業をすることが目標です。



山本 俊秋

所 属: 高校商業科

出身地: 岐阜県

- ① 東邦高校は勉学のみならず部活動も活発で、先生方が熱心に教育をされています。そんな、温かい雰囲気に魅力を感じました。
- ② 旅行。異文化に触れることが好きです。
- ③ 講師で3年間お世話になり、今年からは専任教員1

年生としての再スタートです。教職員・生徒の皆に信頼される教員になりたいと思っています。新たな気持ちで精一杯頑張ります。



森嶋 悠人

所 属: 高校理科

出身地: 名古屋市

- ① 高校生の時に担任だった先生の影響を受け、高校教師になることを夢見ました。そこで伝統があり、元気で明るい生徒の多い東邦高校で夢を実現したいと思ったのが動機です。
- ② スノーボードです。高校生の時に始め、今でも冬になると昔の仲間達と雪山に出かけています。
- ③ 新任なので、やる事なす事が初めての事ばかりです。そのため、私も生徒と共に学んで成長していきたいです。そして、生徒が「東邦高校の生徒で良かった」と思えるような素敵な学校を、他の先生方と共に築いていきたいです。



大嶽 佐智子

所 属: 高校保健室

出身地: 豊川市

- ① 明るく活発な雰囲気と、伝統ある学園に魅力を感じました。
- ② インテリアショップや、雑貨店を見ることです。
- ③ 昨年度まで嘱託として保健室に勤務し、お世話になっていました。今までの経験を活かしつつ、新たな気持ちで、明るく楽しく、精一杯頑張っていきたいです。ご指導の程、よろしくお願いたします。



村松 芳紀

所 属: 学務部

出身地: 名古屋市

- ① 知人から愛知東邦大学は、学生と職員の距離がとても近くファミリーのようだと聞き、私もその一員として働きたいと思ったことがきっかけです。
- ② 音楽が好きで現在もバンド活動をしています。LIVEも数回マイペースに楽しんでいます。落ち着いたらレコーディングして音源を作ろうかと思っています。
- ③ 人との関わりを大切にし、信頼される存在になれるようにがんばりたいと思います。何事にも一生懸命がんばります。

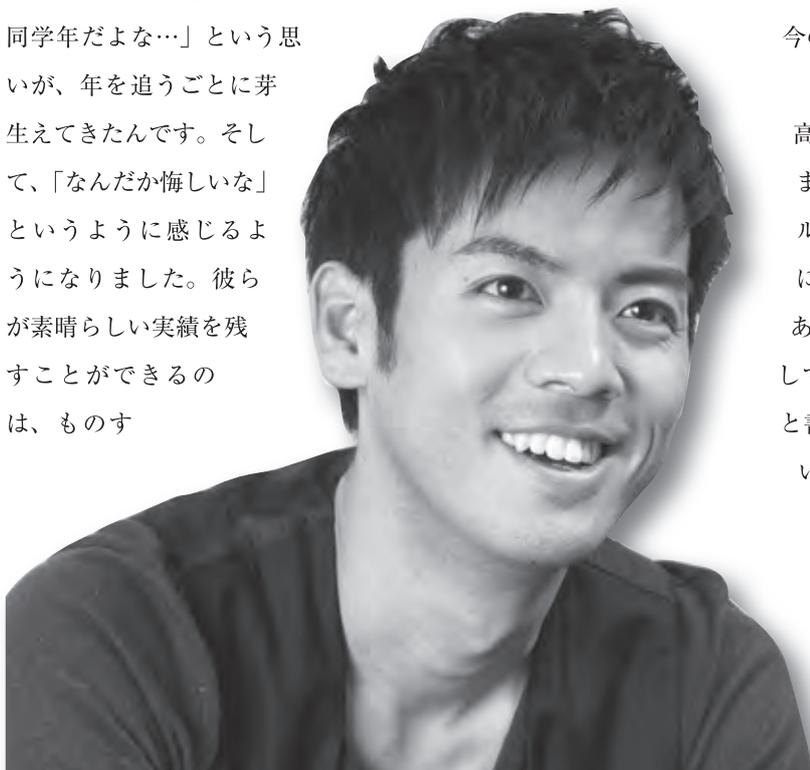
先輩 インタビュー

NHK 連続テレビ小説「だんだん」で好演 山口翔悟さんに聞く

東邦高校に進学を決めたのは、自由でのびのびとした校風だと聞いていたからです。実際に入学してみた感想をひとことで言えば「アットホームな学校」。生徒同士も、先生とも仲がよく、連帯感があって文化祭や体育祭では校内が活気に満ちていました。3年生の文化祭では、クラス T シャツを作ったんです。T シャツには友達同士で好きな言葉や絵をいっぱい描いて。盛り上がりましたね。その T シャツは今でも大切に実家に置いてあります。

ひたむきに頑張る同級生の姿が 俳優になるきっかけとなった

東邦高校はスポーツが盛んで、特に野球部とサッカー部が試合で勝ち上がっていくと、学校中に高揚感が広がっていくんですよ。大会で好成績を取って凱旋してくる野球部員やサッカー部員は学校中のヒーローでした。僕も一生懸命に彼らを応援していましたし、「すごいな」という気持ちで見っていました。だけど、「ちょっと待てよ。彼らと僕は同年代だよな…」という思いが、年を追うごとに芽生えてきたんです。そして、「なんだか悔しいな」というように感じるようになりました。彼らが素晴らしい実績を残すことができるのは、ものす



ごい努力と練習を積み重ねているからだということは分かっていました。そこで、自分の姿を省みると、何もなかったんですね。良い仲間恵まれていましたし、高校生活はとても楽しくて満足していました。だけど、一つのことに真剣に取り組んでいる彼らの姿を見たときに、「何か目標を持って頑張らないといけない」という思いが強くなってきてきたんです。

僕は高校入学と同時期から俳優養成所に通っていました。祖母が僕に内緒で履歴書を送り、なんとなく入学してしまったという感じだったので、とても軽い気持ちで通っていたんです。だけど、東邦生の活躍、脚光を浴びる彼らの姿を目の当たりにし、養成所で頑張ってみようと思うようになりました。努力して彼らのように人を感動させることのできる俳優になってやろうと真剣に考えるようになったんですね。レッスンへの取り組み方がまったく変わりましたし、映画なんかもたくさん観て、演技の勉強をするようになりました。近くに何かに必死で打ち込んでいる人がいて、そこから良い影響を受けることができたことは、今の僕にとって大きな財産となっています。

俳優という職業に強い魅力を感じた僕は、高校卒業と同時に、東京へ上京することにしました。その時、学校の友達が、「お別れアルバム」を作って渡してくれたんです。そこに3年生の時の担任だった寺島先生の言葉もありました。「俳優の道に進むということに関してあまり相談がなかったのが気に食わない」と書かれていたんです。先生は「テラさん」という愛称で生徒からとても親しまれていました。卒業式のときに生徒を前にして「君たちはこれからの人生の大きな山を登っていくんだぞ」と言って泣いてくれたんです。そして、「こうやって涙が流せるのは先生にとって、とても幸せなことです」と話してくれました。アル

バムの「気に食わない」という言葉に、先生の愛情を感じたことを記憶しています。寺島先生には改めてご挨拶に行きたいですね。俳優として頑張っている今の僕を見てもらいたいですし。

高校時代に覚えた、やるべきことに対して準備を徹底するという姿勢は、今でもドラマの仕事に入る時と同じなんです。台本をしっかり読み込み、直接演技には関係ないかもしれないけれど役柄・職業をリサーチします。例えば医師の役で、セリフに何かの病名があ



る。ドラマの中ではその病気についての説明はしないんですけど、撮影前にはどんな病気なのかを調べたりしています。ドラマの流れには関係ないんですけど、気持ちの入り方が違うような気がするんです。

仕事を始めた時は「山口翔悟」という俳優が、世間で認められるようになりたいと考えていました。でも今は、自分が演じた役が世間で有名になるようにしたいと思っています。「山口翔悟という俳優は知られていなくても、ドラマの主人公の名前は知られている」。役としての存在感を発することができる俳優になりたいですね。

profile

プロフィール

山口 翔悟 俳優

1983年愛知県生まれ。東邦高等学校普通科卒業。

高校時代からサンミュージック・アーティスト・アカデミー名古屋校へ通う。高校卒業後、俳優としてデビュー。テレビドラマ「魔弾戦記リュウケンドー」「オレンジデイズ」「小早川伸木の恋」「レガッタ」「花ざかりの君たちへ～イケメン♂パラダイス～」「ハンチョウ」など、多数出演。2008年にはNHK連続テレビ小説「だんだん」で準主役を務め注目を集める。2009年10月から東京・大阪・名古屋などで舞台「だんだん」に出演予定。



キャンパス短信

法人

「21TOHO教育充実事業募金」活動開始

愛知東邦大学・東邦高等学校の教育施設を充実させることや、学生・生徒の教育活動支援など、東邦教育の理念を具体化させるため、「21TOHO教育充実事業募金」(任意寄付)の依頼活動を開始しました。

未曾有の厳しい経済情勢下、心苦しいところではありますが、ご理解を賜りご協力をいただけますようお願い申し上げます。

法人

東邦高校生の作品が地下鉄壁面看板に

東邦をアピールするポスターとキャッチフレーズを募集したところ、多数の応募がありました。

ポスター部門 優秀賞には鬼頭昌平君(東邦高校美術科3年)の作品が選ばれました。地下鉄東山線名古屋駅と栄駅のホーム壁面照明看板に東邦学園のデザインとして使われています。



「名東の日」区民まつりに協力

5月10日は名東の日(May10)です。今年も名東区役所とタイアップし「名東区民まつり平和が丘春の祭典」が開催されました。

会場となった東邦高等学校のステージでは吹奏楽演奏、ダンスやバンド演奏がにぎやかに、愛知東邦大学では手軽にできるスポーツ輪投げ「クロリティー」大会、ストレッチ、映画、絵本の読み聞かせ、将棋大会など、幅

広い年代に楽しんでもらえる催し物が行われました。

当日は晴天に恵まれ大勢の人々が訪れ、「人と街と学園の輪が広がる！」お祭りになりました。

大学

進化する「名東カルチャーゾーン構想」シンポジウム

地域創造研究所運営委員 宗貞 秀紀

本学「地域創造研究所」では、研究所設立以来、主として東海3県を範囲とした「産業、学校、行政、市民」(産・学・官・民)と協働した調査・研究を展開しています。「地域と共に生き」「地域を創造する」という本学の特徴を生かして、地域の経済発展や、まちづくり、暮らしと文化、新しい自治体との協働した取り組み、民間企業との共同研究を取り進めています。

標題の「名東カルチャーゾーン構想」シンポジウムもその一貫で、区内全体を視野に入れた文化都市構想を考える場として今日まで定期的に開催し、これまで4回となるシンポジウムを開催してきました。特に、名東区内に在住、在勤される区民や勤労者の皆さんの参加をいただきながら、名東区コミュニティの産業、教育、文化、自治会活動、暮らしなどについて幅広い観点から学習できるシステムに特徴があります。さらに、テーマは地域区民のニーズを踏まえながら設定されてきています。そのために、参加される地域住民の方々が年々多くなっており、区民に定着しつつあります。

本年2月のシンポジウムでは、山本多津也さん(名古屋文学サロン月曜会代表)のネットを活用したユニークな読書会活動。青山裕子さん(愛知県ネイチャーゲーム協会理事長)による「町に潜む小さな自然の発見と遊び」活動。大川貞雄さん(貴船学区連絡協議会顧問)による、自治会、町内会活動を「やらされる」から「やって良かった」への住民本位の地域に根づいた自治会支援活動について報告を戴きました。

名東区の目指す『文化薫る活気とおもいやりのある街』を実現していきましょうと、参会者も共感しながら改めて地域文化について考える機会となりました。

大学

自己点検・評価にかかわる報告会を開催

3月11日、自己点検・評価委員会は「自己点検・評価にかかわる報告会」を開催しました。本委員会は、平成13



年9月に設置された委員会でありますが、毎年各委員会・各部署から提出される総括を基に自己点検・評価を行ない、学園全体の発展という観点で検討をしてきました。

また、平成16年4月の学校教育法の改正により、7年以内に文部科学大臣が定めた認証評価機関から認証を受ける「認証評価制度」が義務付けられ、本学は平成17年度から「財団法人日本高等教育評価機構」に加盟しています。

本学は、平成22年度同評価機構の審査を受審することになっていますが、今後も自己点検・評価を実施し、教育研究活動等の自律的な質の向上と改善に努めています。

高校

東邦高校ホームページ リニューアル

教頭 長沼 均俊

4月3日、高校のホームページがリニューアルされました。今や、Webによる情報収集は、私たちの日常にすっかり定着した感があります。広報委員会を中心に、東邦の多様で多彩な教育活動や新鮮な話題を紹介しながら、魅力あるホームページ運営を心がけていきます。今後ともHPの充実に向けて、忌憚のないご意見やご感想をお聞かせ下さい。

東邦高等学校 検索 

学生起業に成功した岩田君

一時は退学も考えた学生が「自分の仕事」に目覚め、仕事にも勉強にも励み始めた。今春4年生になった岩田真生土(まきと)君を紹介します。(取材:M)

Q 岩田君の仕事は？

A 中古バイクの部品を磨いてヤフーオークションで売る商売です。やり方はアルバイト先で覚えて、商品もそこから仕入れていて、古物商の免許も取っています。

Q いつからはじめたのですか？

A 大学入学後、前から出入りしていたバイクの部品屋でアルバイトし始め、2年生の頃には大学も辞めようかと思っていたんです。単位もほとんど取れなくて…。ゼミには出ていたんですが、そこで先生から「その仕事面白いね」と言われて俄然やる気が出たんです。ちょうどその頃、勤め先からもすすめられて、自分でもオークションに出品するようになりました。仕事が増えるにつれて経営のことを知る必要もできて、3年生からはほとんど休まず学校へ出るようになりました。始めて2年経った昨年秋から、「マーキーズ」という自分の店も開きました。

今年の4月からは経理と発送のパートさんを入れました。これで僕の手間が空き、オークションに出せる品が倍近くになりました。

Q どんな人が買っているんですか？

A レアな部品を付けたい人や、メーカーが生産をやめた部品が必要な修理屋さんなどですね。傷がない部品なら洗って磨けば、仕入値の2倍から5倍ぐらいで売れます。

Q 今は？

A 売り上げは毎月30万円前後。試験期は出品商品が減るし、夏休みは出品を増やせるので、5~10万円ぐらい変動します。単位も4年で卒業できるメドが立ちました。店も開いたのでバイク好きのたまり場を兼ねて自営しようかと考えています。

専念すれば部品だけで50万円は固いし、店では直接販売もしますからね。だけど、経営の勉強がしたいし販売士の勉強もしたい。仕事も忙しくなるとほんとに時間が足りないの、研究生で残ることも検討中です。



開店準備中の自店前に立つ岩田君



国際交流



大学 アメリカ語学研修

アメリカの本学協
定校、エベレット・コ
ミュニティ・カレッ
ジ(EvCC、シアトル
近郊)への語学研修
が2月7日から22日



まで行われました。大勝志津穂・専任講師が引率し、9人の学生が美しい自然に恵まれたエベレットでアメリカ体験を行いました。アメリカ人家庭にホームステイし、昼はEvCCでネイティブの先生に付いて英語の授業。2週間あまり徹底した英語漬けの生活です。実際に生活しての英語学習はまったく異なり、時差ぼけに苦しみながらも学生たちは熱心に勉強しました。アメリカ人の日本語クラスに出向いて互いに言葉を教えあったり、書道その他の文化交流をしたり、近くの小学校に行き、子どもたちに折り紙を教えるなども。午後は市内にあるボーイング航空機工場その他見学が入り、中身の濃い日程でした。

学生たちは最初こそ緊張の連続でしたが、さすがに若さ。日一日と慣れてきて、目に見えてアメリカ人とコミュニケーションする力をつけていきました。現在EvCCに長期留学をしている本学3年生の中本陽子さんとも話し「次の1歩」への夢も語りあいました。異文化の困難の中でも快活に行動し成長してくる本学学生を見て、こうした体験学習の効果と必要性を改めて確認しました。

大学 スウェーデンの教育について特別講演開催

大学地域国際交流委員長 宗貞 秀紀

4月22日(水)、スウェーデン イェテボリ大学(大学の交流協定校)のニルソン博士(教授)が来学されました。「教育とは何か～スウェーデンの経験から～」というタイトルで講演が行われ、学生、教職員75人が出席しました。

ニルソン博士からは、スウェーデンの教育は知識の詰め込み暗記させるのではなく、



教師はあくまでサポートに徹して、子ども自らが考え、答えを出す教育が行われている。机は円形でトーキング、ふれあい型中心で日本

のような学校形式の机の配置はしない。そして大学に入学するための試験制度は一切ない(高校までの授業レベルを信頼している制度)。そして、幼児教育、小学生から高校までの学費と給食費は公費で負担し、大学へは40%の高校生が進学する。大学も学費は公費で負担され、生活費はほとんどの学生が奨学金で通学している、という興味深い話を聞くことができました。

高校 第7回姉妹校交流会

高校国際交流室長 河野 芳江

1997年に東邦から始まった姉妹校交流会が、三度東邦に還ってきました。ニュージーランドからは、マリアンカレッジが不参加でしたが、シャーリーボーイズが、オーストラリアからはサレジアンカレッジ、中国からは南京外国語学校がやって来ました。

各校選抜の5人の生徒と2人の引率教員が、東邦の5人の交流委員や3年国際コースの生徒たちらに迎えられて、4月27日の開会式に臨みました。授業(CE、英語、着付け、体育、日本語、書道、調理など)やクラブ体験にも、みんな大喜びで参加していました。

小原村に出かけ和紙作りも体験しました。連休中は犬山ユースで2泊3日の合宿。国混合の班編制で活動が行われました。言語は、英語。市内散策やテーマ別討論会では、「泣きたい気持ち」の東邦生たちでしたが、真摯な態度や優しい気持ちは十分通じ交流委員として、立派に役目を果たしました。春休み返上で練習していた踊りを他校の生徒に伝授するときには自信満々。5月8日には修了証書が渡され、有意義だった2週間の幕を閉じました。

生徒のホストを始め、いろんな人たちが関わってくれた交流会でした。美しい緑と新校舎を存分に味わっていただきました。抱き合って泣きながら別れた後、「寂しいね」というのがみんなの感想。次回は2011年オーストラリアのサレジアンで開催されます。



開会式の後、みんなで

パートナーシップ・インフォ

👉 サポーター「フレンズ・TOHO」 👈

「ホーム」は「アウェイ」の試合に比べて有利です。移動がなく選手の疲労もない、状態の分かったグラウンド、等々考えられます。そしてなによりもサポーターによる応援が違います。

学園のサポーターは、同窓会、PTAなど——。普通どこの学園にもあります。東邦学園「フレンズ・TOHO」は、このサポーターです。サポーターが多ければ、学園に元気や活力を与えます。サポーターの応援で、プレイヤーは見守られていると感じ、期待が寄せられていることを実感します。

舞の海氏の講演など多彩な行事も

「フレンズ・TOHO」では各種研修を行っています。6月26日の総会時には記念講演会にNHK相撲解説者 舞の海 秀平氏をお招きし、『可能性への挑戦』というタイトルで講演していただきます。

今後も『立浪部屋を応援し、ちゃんこを味わう』や『中国雲南省の観光と産業』の研修が予定されています。

東邦高等学校PTAのサークル活動として30年近くおこなわれてきた「自然と親しむ会」が、今年から「フレンズ・TOHO」の研修企画とジョイントされました。

「園長の案内で歩く『東山植物園』」の企画が、5月23日行われました。舟橋和時園長の案内で東山植物園めぐり、見逃していた「植物園」を実感。

生き物は、いろいろなものがまさに、食べたり食べられたり、生育場所を奪い合ったり、太陽の光を採りあったりと、弱肉強食の世界のようです。しかし、自然は生き物を単一には決してしません。自然の妙とい



東山植物園長の説明を聞く参加者

うものでしょう。だからこそ生物多様性があるのでしょうか。

秋におこなわれる「フレンズ・TOHO」の中間総会記念講演は、この生物多様性をメインテーマとした講演をおこなう予定です。愛知東邦大学「地域創造研究所」との共催です。

学園も多様性を

学園も多様性を失うことなく、環境の変化にも生き生きと活躍するたくましさが必要です。学園は支援団体への協力をおこない、逆に支援団体からの応援を得てこそ、一層の発展が期待できるというものです。

フレンズ・TOHO 事務局

TEL 052-782-1241

E-mail friends@aichi-toho.ac.jp

🌸 高校に戦前の卒業生から桜並木寄贈 🌸

5月22日東邦高校で桜並木の贈呈式が行われました。寄贈したのは昭和16年に東邦商業学校を卒業された第15回卒業生の皆さん。桜は本年2月に校門の両側や校庭北辺に沿って植えられ、入学式の頃には早くも開花していました。

この日贈呈式に参加されたのは、当時教員であった浅井先生と卒業生7人。葉桜が美しい正門脇で、代表の稲垣鍵一氏から榊理事長へ贈呈されました。稲垣氏らは卒業の年に第2次大戦が始まり、12月に繰り上げ卒業して大半が軍や軍用工場へ送られました。戦死されたかたも少なくありません。

贈呈式の後、大学の会議室で座談会が開かれ、全国大会でも優勝した珠算部の活躍や運動会、弁論大会など、当時の東邦商業学校の日常が話し合われました。



贈呈式の様子

クラブ活動 高校

ゴルフ部



目指せ！緑の甲子園

高校ゴルフ部主将 岩切 元紀

今年の愛知県予選で私が6位(85ストローク)と大河君が10位(86ストローク)で入賞し、中部大会に出場する事ができました。

本戦の中部大会は三重県の白山ヴィレッジゴルフコースで行われ、東海地方と北陸地方から予選を勝ち上がってきた選手で行われました。距離が長く、フェアウェイも狭くて、難しいコースでした。

結果は、私が37位(92、83ストローク)、大河君が51位(93、91ストローク)でした。

後輩には「全国大会」を目指してほしいと思います。貴重な経験をさせていただき先生方や関係された方に変感謝をしています。



ソフトボール部



3年ぶり県大会出場

ソフトボール部部长 寺島 多岐夫

ソフトボール部は、平成21年度の愛知県高等学校総合体育大会(インターハイ予選)において、3年ぶりに県大会に出場いたしました。

4月26日(日)から始まった名北地区予選においては、1次リーグを愛知淑徳・相山・春日井商業・市工芸・東邦の5校で戦いました。本校は、緒戦の愛知淑徳戦には敗北しましたが、その後3連勝をし、1次リーグを2位で突破し、名北地区決勝トーナメントへ駒を進めること

となりました。

5月3日(日)からの決勝トーナメントでは、1回戦の西陵商業戦に勝利



し、ベスト4に入り、県大会の出場権を獲得することが出来ました。

昨年度の新チーム結成以来、3年生6名を中心に個人の力量ではなく、チームの力をつけることを第一目標として取り組み、練習を重ねてまいりました。その結果が、今大会に発揮でき3年ぶりの県大会出場を勝ち取ることが出来ました。

県大会では、1回戦の半田商業には大差で勝利を取ることができましたが、2回戦の豊川に惜敗を喫してしまいました。この結果をふまえて、部員一同は今後更なる向上心を持ち、練習に励むことを誓い頑張っております。

吹奏楽部



第53回定期演奏会

吹奏楽部顧問 磯部 由美子

2009年2月14日、愛知県芸術劇場大ホールにおいて、「吹奏楽部第53回定期演奏会」が開催されました。当日は思いのほか暖かく、開場時間のはるか前から長い列ができ、2000人に及ぶ皆さんにご来場いただきました。

一部は「クラシック」。「エルカミーノリアル」「ラシーヌ賛歌」「ウィズハートアンドヴォイス」と続く調べは、繊細な響きが人々の心をとらえました。

続いての二部は「ポップス」。ディズニーのアニメでお馴染みの「ティコティコ」「魔法にかけられて」、アメリカ映画の「チャーリーとチョコレート工場」、「松田聖子ラブリーコレクション」など、厳粛な音色に浸っていたいただいた後のリズムカルな音調に、部員のコミックな動きも加わり、会場は一気に盛り上がりました。

そして、最後の「ステージマーチング」は、昨年の全国大会で銀賞を受賞した腕前を遺憾なく発揮し、来

クラブ活動 大学

場者の心に残るものとなりました。

会場狭しと埋め尽くす人々を前に、精一杯の演奏を繰り広げた吹奏楽部員は、皆さんにお聴きいただいた幸せを忘れることなく、今後も練習に励みます。次回の定期演奏会は、2010年2月11日（祝）、中京大学文化市民会館オーロラホールでの開催を予定しております。是非、来年もお越しいただくことを心の底からお待ちしております。



空手道部



女子団体組手、全国高校総体へ

愛知県高校総合体育大会で女子団体組手が優勝、男子団体組手は2位の成績をあげました。

女子個人組手では3年の二村智代さんが優勝。女子団体と二村さんは8月4日から兵庫県立武道館で行われる全国高校総合体育大会に出場します。

応援をよろしくお願いします。



軟式野球部



多くの支えに感謝

人間学部人間健康学科3年 風間 拓也

軟式野球部は人間健康学科1期生で立ち上げた部活動で創部3年目ですが、昨年の秋季リーグはⅡ部2位の成績を収め、Ⅰ部昇格も夢ではないと日々励んでいます。仲良く楽しみながら野球に取り組み、学生会や他の部活への参加、実習授業のサポートなど学校活動にも積極的に関わっています。

そんな中、昨年野球道具が盗まれるという残念な事件が起きました。もともと金銭・時間などの都合から硬式野球部には参加しにくい学生で始めたので、再度道具を買い揃えるのは大きな負担でした。そんなとき人間学部長であり顧問でもある山本正彦先生が寄付を募って下さったところ、多くの先生・職員の方々が快く賛同して温かいお言葉を添えて寄付をしてくださりました。私達はたくさんの良い先生や職員に支えられていることに気づき、嬉しく思いました。

愛知東邦で学び、野球ができることに感謝を忘れず、応援して下さい先生や友達に良い報告ができるように邁進していきますので応援お願いします!!



みんな仲よし!!最高の仲間!!

ATTO(愛知東邦トレーナー組織)



夢に向かって

ATTO部長3年 大岩 厚輝

私たちATTO(Aichi Toho Trainer's Organization)は、人間学部が新設された2007年に発足した新しいクラブです。発足当時は、部員数も5人程度しかいませんでした。現在では新入部員も増え、1・2・3年生合わせて25名で活動しています。

主な活動内容は、スポーツトレーナーになるための基礎的な解剖学や生理学、実践的なテーピングやマッサージなどを顧問の葛原先生のもとで学んでいます。そのために週1回のペースで勉強会を行っています。葛原先生の方針で勉強会のテーマから資料集め、発表までを学生中心となって考えるという事で大変ではありますが、ATTO執行部を中心に頑張っています。

また、今年の3月に「全国学生トレーナーの集い」という、全国から25大学・8専門学校、448名の学生が参加した大規模な学生トレーナーの全国大会に初めて参加



第12回全国学生トレーナーの集い
(右:グループディスカッション、
下:懇親会)



週1回の勉強会



大学祭イベント
(マッサージ)

してきました。

まだまだ大学内での認知度が低いと思うので、これから学内や地域向けの行事などに積極的に参加し、未来の後輩達のための土台を作っていきたいと思っています。今後もご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

コーラス部



Let's sing a song!

経営学部4年 巖野 経明

昨年の大学祭で先生や職員の方々といっしょに合唱をしました。それが楽しかったので、コーラス部を立ち上げました。まだ部員は少ないですが毎週2回練習をして、いろんな曲に挑戦しています。一緒に歌ってみませんか？



サッカー部



第8回

愛知学生サッカーリーグ戦始まる

東海大学サッカーリーグ2部昇格へ向けた公式戦「第8回愛知学生サッカーリーグ戦」が始まりました。リーグ戦のスケジュールは以下のようになっています。応援よろしくお願いします。

【日 程】

- 6月28日(日) vs 名古屋市立大学
- 9月6日(日) vs 愛知みずほ大学
- 9月13日(日) vs 南山大学
- 9月20日(日) vs 愛知大学名古屋校舎
- 10月4日(日) vs 名城大学
- 10月11日(日) vs 愛知教育大学
- 10月18日(日) vs 名古屋大学医学部
- ※全日程12:00試合開始

【会 場】

全日程、本学の日進グラウンドです。



1. 学園のこれからの歩み方—これまでの歩みを省みつ

つ、現状を分析、教育機関としての役割を考える—

大学と高校は、社会の要請と教育環境の変化に、「東邦」の独自性を保ちつつ教育内容を柔軟に、また大胆に見直し、教育機関としての使命を全うしてきました。現在、少子化の影響による志願者の減少に加えて、経済格差の開きが家庭環境や子ども自身の学ぶ姿勢、生き方にまで影を落とす時代となっています。

本学は学ぶ意欲のある者には、分けへだてなく教え、学びの機会を設けるといふ教育機関としての志を掲げています。現実を直視し、本学園が永続していくには、全教職員が協働する形で新たな方策を創り出します。

外的環境を調査して、学園が持つ資源や特質を客観的に分析し、学園の構成員だけでなく外部からも率直かつ謙虚に意見を聞き、認識を共有化することを出発点とします。

その上で、教育機関の抱える課題である学力低下や中途退学、学生募集難など深刻な状況を打開すべく、新たな教育システムの構築を検討し具体化することに努めます。教学の方針・目標と経営の進め方を一致させ、安定した経営基盤と特色ある教育研究活動を展開して、「学校」としての機能を充実させ、社会の要請に応えます。

2. 創立100周年(2023年)を見通した将来計画の策定

(1)中期事業計画を立案します

学園の進むべき方向を示すビジョンづくりとして、全学園をあげて重点的に取り組む2010年からの5年間の中期事業計画を策定します。そのために、特別プロジェクトとして担当理事を決めて専門委員会を設置します。

2023年に迎える創立100周年を学園にとっての大きな節目ととらえ、記念事業の準備に着手します。

(2)中期財政計画を実現させます

「第2次中期財政計画」を実現するために、各年度単位で収支の均衡を保つだけでなく、教育研究経費や管理経費、人件費などの支出割合及び予算執行の妥当性を勘案した財務運営サイクルを確立します。

昨年度提示した経費削減策を引き続き推進し、可能な限り費用対効果を高めます。新たに策定される中期事業計画に合わせて、「第3次中期財政計画」の策定に着手します。

3. 教学・経営業務執行基盤と管理運営の強化をおこないます

(1)理事の役割と人事体制の見直しをします

理事会の運営体制を確立するとともに、教学部門との連携関係を強化して円滑な運営を実現しま

す。学内外に責任ある業務執行体制を明示します。また、理事は各業務の執行責任者として事業を推進します。

(2)教学と経営の一致した政策立案とその運営に努力します

教学・法人協議会を、それぞれの政策を一致させる調整機能に位置づけます。特に、募集活動や教育活動、人事・労務など教学と経営の重なり合う問題で共同運営を図ります。

(3)学園全体での自己点検自己評価活動を促進します

2010年度、大学が受ける第三者評価機関からの認証評価を始めとして、学園全体が外部評価の仕組みを導入し、教育研究活動や管理運営の改善につなげる取り組みをします。

4. 法人が主導する具体的な政策

(1)東邦高校と愛知東邦大学の連携を進めます

高校と大学の教育連携や「高大一貫教育」を進展させるために、連携協議委員会の充実を図り、具体的な政策立案と実行計画の策定を推進します。

(2)広報・発信力を強めます

Webページを最重要広報手段に位置付け、新たに学園のWebシステム環境を整備します。Webデザインの見直しや日々のデータ更新など積極的な情報の展開に取り組み、発信を強めます。

(3)卒業生、後援組織を活かした学園支援体制の充実を図ります

同窓会(「東邦会」・「邦友会」)・父母会や「フレンズTOHO」など、学園の支援組織との活動協力の機会を増やします。

(4)奨学金制度を充実させます

経済困窮による学生・生徒への支援措置として、奨学金制度を拡充します。奨学金の給付・貸与から返還までの一連の流れを見直し、安定的な資金運用のための仕組みを再構築します。

(5)学園諸規程を見直します

高校と大学の独自性から生じる異なる規程を認めながらも、可能な限り学園で共通化できるよう諸規程全体を見直し、整備します。

財務情報の開示

学校法人東邦学園の財務に関する下記の情報をご請求に応じて開示します。開示の対象者は学園の教職員、在学生又はその保護者・保証人、卒業生、債権者、入学希望者又はその保護者・保証人です。

- ・ 計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表)
- ・ 予算書(資金収支予算書、消費収支予算書)
- ・ 事業計画書および事業報告書
- ・ 財産目録
- ・ 監査報告書



2009(平成21)年度 東邦学園予算の概要



2009年度予算は、3月25日の理事会と評議員会で決定、承認されました。

学校法人会計基準に従い会計処理を行っております。この基準に定められた「資金収支計算書」「消費収支計算書」を開示いたします。

平成21年度資金収支予算書(概要)

(単位:千円)

科 目		20年補正	21年予算	補正との差額	主な増減理由
収入の部	学生生徒納付金収入	1,701,880	1,789,650	87,770	大学人間学部が3回生までとなる
	手数料収入	47,810	44,920	△ 2,890	
	寄付金収入	7,110	8,800	1,690	
	補助金収入	885,890	844,000	△ 41,890	大学は一般補助と特別補助のみの計上による減額 高校は補助金の対象となる生徒数が減少したことによる減額
	資産運用収入	14,140	14,230	90	
	事業収入	3,280	1,900	△ 1,380	高校の市民講座中止による減収
	雑収入	139,240	46,920	△ 92,320	高校退職金財団からの交付額分
	借入金等収入	204,330	203,820	△ 510	
	前受金収入	395,000	397,070	2,070	
	その他の収入	424,100	532,970	108,870	高校退職金財団からの交付額分
	資金収入調整勘定	△ 764,810	△ 608,630	156,180	大学はH21年度入学生の減員による前受金の減収 高校退職金財団からの交付額分
前年度繰越支払資金	1,834,203	1,529,943	△ 304,260		
合 計	4,892,173	4,805,593	△ 86,580		
支出の部	人件費支出	2,037,480	1,945,100	△ 92,380	
	教育研究経費支出	448,460	476,290	27,830	大学分の奨学金増額と管理経費からの振替による増額
	管理経費支出	192,750	159,330	△ 33,420	大学分の教育研究経費への振替と広報費の減額
	借入金等利息支出	32,110	31,320	△ 790	
	借入金等返済支出	382,640	472,950	90,310	金融機関への借入返済金の増額
	施設関係支出	28,880	18,830	△ 10,050	H20年度改修工事分の減額
	設備関係支出	43,930	35,520	△ 8,410	H20年の人間学部に関わる設備関係分の減額
	資産運用支出	139,900	80,800	△ 59,100	高校の減価償却引当特定預金繰入額の減額
	その他の支出	62,640	59,810	△ 2,830	大学分リース終了による減額
	予備費	50,000	50,000	0	
	資金支出調整勘定	△ 56,560	△ 60,070	△ 3,510	大学証明書発行機リース開始による増額
次年度繰越支払資金	1,529,943	1,535,713	5,770		
合 計	4,892,173	4,805,593	△ 86,580		

平成21年度消費収支予算書(概要)

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科 目	20年補正	21年予算	補正との差額	科 目	20年補正	21年予算	補正との差額
学生生徒等納付金	1,701,880	1,789,650	87,770	人 件 費	2,005,770	1,946,050	△ 59,720
手 数 料	47,810	44,920	△ 2,890	教 育 研 究 経 費	774,740	800,410	25,670
寄 付 金	7,880	9,650	1,770	管 理 経 費	199,210	165,790	△ 33,420
補 助 金	885,890	844,000	△ 41,890	借 入 金 等 利 息	32,110	31,320	△ 790
資 産 運 用 収 入	14,140	14,230	90	予 備 費	50,000	50,000	0
事 業 収 入	3,280	1,900	△ 1,380				
雑 収 入	139,240	46,920	△ 92,320				
帰属収入合計	2,800,120	2,751,270	△ 48,850	消 費 支 出 合 計	3,061,830	2,993,570	△ 68,260
基本金組入額	△ 68,010	△ 126,480	△ 58,470	消 費 収 支 差 額	△ 329,720	△ 368,780	△ 39,060
消費収入合計	2,732,110	2,624,790	△ 107,320	合 計	2,732,110	2,624,790	△ 107,320
				帰属収支差額	△ 261,710	△ 242,300	19,410



2008(平成20)年度 東邦学園決算の概要



2008年度決算は、5月27日の理事会と評議員会で決定、承認されました。概要を開示いたします。

1. 学園の財政状況

(1) 概況

2008年度入学生は次のようでした。大学の経営学部で定員を確保し、開設2年目の人間学部も人間健康学科で定員を超えました。子ども発達学科が定員に至らず、全体では、定員を満すことができませんでした。

高校は、志願者が前年度より増え、入学者も577人に回復しました。

人件費や管理経費などを圧縮し、教育研究経費への配分割合を増やし、可能な限り教育研究活動の経費を厚くしました。日常的な経費節減に取り組み、全体として大きな節減となりました。

(2) 資金収支

「資金収支計算書」は、お金の流れを見るための決算書です。

2008(平成20)年度決算を繰越支払資金でみると、前年度の18億3,420万円から16億8,447万円に減り、1億4,973万円の支出超過となりました。予算時には、次年度繰越支払資金を15億2,994万円と見込んでおり、予算比では1億5,453万円改善できたこととなります。

主な要因は、収入の部で大学と高校の学生生徒納付金が合わせて872万円、大学の補助金収入が1,852万円、高校の2009年度入学者が増加したことに伴う前受金収入が1,392万円増加したことがあります。

支出の部では、高校の人件費をはじめ教育研究経費、管理経費において教職員の協力により、5,519万円の削減(予算比)ができました。

(3) 消費収支

「消費収支計算書」は企業会計の「損益計算書」に相当するものです。すべての収入から学校会計特有な基本金組入れ額を除いたものを消費収入として消費支出との均衡状態を見ます。

学園全体で、帰属収入は28億6,661万円、消費支出が29億7,885万円となりました。これにより帰属収支差額が1億1,224万円支出超過となり、更に基本金組み入れを行なうと1億3,895万円の支出超過となります。一方、予算額との比較では、予算時の消費収支差額が3億2,972万円の支出超過でしたが、決算では1億3,895万円の支出超過となり、支出超過額を1億9,077万円、圧縮することができました。

(4) 評価

2008年度当初予算と比べると、全般に支出を抑えることで、収支の改善に努めました。依然として赤字決算であり、次年度から借入金の返済が1億円ずつ始まる状況を考えると、定員の確保と退学者の防止は不可

欠です。また、支出抑制のためとはいえ、教育研究経費の割合が25.3%で、目標の27%に届かず、教育機関としての予算配分に課題が残りました。

2008(平成20)年度資金収支計算書 (単位:千円)

科目	20年決算	19年決算	差異
学生生徒納付金収入	1,710,603	1,680,667	29,936
手数料収入	42,305	42,629	△324
寄付金収入	8,411	49,091	△40,680
補助金収入	904,223	1,324,383	△420,160
資産運用収入	16,302	15,599	703
事業収入	3,655	3,562	93
雑収入	142,121	46,540	95,581
借入金等収入	202,842	1,067,940	△865,098
前受金収入	394,463	424,941	△30,478
その他の収入	433,663	529,838	△96,175
資金収支調整勘定	△766,965	△1,125,425	358,460
前年度繰越支払資金	1,834,203	2,758,450	△924,247
合計	4,925,826	6,818,215	△1,892,389
人件費支出	2,026,268	1,927,593	98,675
教育研究経費支出	428,406	529,754	△101,348
管理経費支出	182,691	216,370	△33,679
借入金等利息支出	32,080	28,129	3,951
借入金等返済支出	382,748	262,943	119,805
施設関係支出	16,444	1,731,935	△1,715,491
設備関係支出	36,145	205,018	△168,873
資産運用支出	151,117	-	151,117
その他の支出	61,872	130,725	△68,853
資金支出調整勘定	△76,411	△48,455	△27,956
次年度繰越支払資金	1,684,465	1,834,203	△149,738
合計	4,925,826	6,818,215	△1,892,389

2008(平成20)年度消費収支計算書 (単位:千円)

科目	20年決算	19年決算	差異
学生生徒等納付金	1,710,603	1,680,667	29,936
手数料	42,305	42,629	△324
寄付金	10,719	59,021	△48,302
補助金	904,223	1,324,383	△420,160
資産運用収入	16,302	15,599	703
事業収入	3,655	3,562	93
雑収入	178,800	46,540	132,260
帰属収入合計	2,866,606	3,172,401	△305,795
基本金組入れ額	△26,708	△66,034	39,326
消費収入合計	2,839,898	3,106,367	△266,469
人件費	1,998,085	1,914,337	83,748
教育研究経費	754,273	809,024	△54,751
管理経費	188,792	222,313	△33,521
借入金等利息	32,080	28,129	3,951
資産処分差額	1,750	795,807	△794,057
徴収不能引当金繰入額	2,218	17,226	△15,008
徴収不能額	1,653	1,207	446
消費支出合計	2,978,852	3,788,043	△809,191
消費収支差額	△138,954	△681,676	542,722
合計	2,839,898	3,106,367	△266,469



2008(平成20)年度 東邦学園の事業報告



1. 全体のまとめ

学園に課せられた社会的使命でもある「魅力ある教育づくり」と「将来に向けた構想」をまとめることに取り組みました。

将来構想の中心は「中期事業計画」の立案と「第二次財政計画」の見直しでした。最終案の成立までに至らなかったものの「骨子」を作成できました。「第二次財政計画」が実行可能となるように計画全体の見直

しを図りました。

理事長、法人事務局長が共に交代しましたが、継続課題に遺漏のないよう取り組みました。任期満了による役員変更がありました。新理事、新評議員により、理事会が一層機能を発揮できるよう心がけました。3月末に高等学校長が交代し、高校と大学の連携と融合も考慮し、理事長が校長を兼務することになりました。

総じて、磐石な体制づくりと安定的な組織運営の実

現に向けて、新たな一步を踏み出す準備期間でした。

2. おもな事業の実施状況

(1) 学園の将来計画と教育改革の推進

法人企画広報部を中心に、教育環境の整備拡充計画について調査・研究・情報収集に着手しました。

学園支援団体「フレンズ・TOHO」の協力のもと、キャリア教育の充実となる「東邦職 Do !」(学生の手による求職活動)を援助し、成果がありました。教員による FD は継続的に行い、高校における単位増、「朝読書」など、新年度から実行する準備が整いました。

(2) 厳しい財政状況への理解と第2次計画の見直し

① 「第2次財政計画」の見直し

「第2次財政計画」を実態にあった達成可能な計画として、収支の均衡を計る積算基準をあらため、その改善に努めました。

財政状況の資料を労働組合や一般教職員に配付し、説明会を実施し、理解と共通認識を得る工夫に努めました。

② 学生募集対策と広報戦略

大学の志願者増と募集定員充足のため、入試広報戦略会議を開催し、具体的な対策を取りましたが、350名を確保するには至りませんでした。

③ 外部資金の獲得への取り組み

『TOHO80周年事業募金』(2008年11月終了)への寄付は、総額1億6千万円となりました。新たな寄附事業「『21TOHO』募金」を2008年12月に開始しました。

特別補助金獲得のために努力をしましたが、補助金の増額には至りませんでした。

④ 人件費の抑制

財政計画通りにはならなかったものの、教職員組合との度重なる交渉によって理解を得、学園全体と

して、約3,800万円の減額が実現しました。

⑤ 経費削減に向けての取り組み

教育研究経費、管理経費などの節約に努めました。高校は、環境を考慮した「エコアクション21」に取り組むことで経費節減ができました。

(3) 組織運営の充実強化

① 理事会・評議会運営の見直し

理事会の体制づくりとガバナンス強化のため、理事の職務を明確にする規程を制定しました。評議員会では、これまで以上に意見交換ができる時間の確保に努めました。

② 再雇用者への対応

学園教職員の再雇用制度にかかわる規程を整備し、関連法の遵守に努めました。

(4) 教育環境の整備

高校新校舎への設備補充や大学グラウンド整備など、より快適な教育環境づくりに心がけました。

(5) 学園の存在感を内外に示す広報機能の充実

学園全体の教学活動及び事業に関する情報を広く社会に提供する広報活動を心掛けました。

(6) 支援組織・同窓会との関係強化を通じた学園活性化

学園は、学園支援組織を企画政策の面で支援し、協力関係が強化されました。

(7) 地域社会への貢献

「東邦学園下出文庫」の資料を一般公開しました。地域に図書館を開放し、絵本を貸し出していますが、口コミもあり好評でした。

(8) 経済危機に対応する特別措置

急激な経済不況は、在学生や受験生を深刻な状況に落とし入れ、授業料の滞納や入学金支払いが滞る事態となりました。本学園も助成措置をとる緊急対応を行い、マスコミにも取り上げられました。

学園の人事構成

本年度の学園の人事構成は下記の通りです。

◆役員・評議員

理事長	山極 直樹
理事	山極 完治、塩澤 敏明
	山本 正彦、磯部 由美子
	福島 一政、村田 浩子
	石川 民治、増田 貴治
監評	市丸 元廣、鈴木 基仁
議	山本 正彦、長南 仁
	堀田 時弘、成田 良一
	磯部 由美子、森井 勝也
	水谷 光博、長沼 均俊
	戸谷 正行、森川 早苗
	塩澤 敏明、鈴木 健治
	中林 功、植原 素士
	大矢 正成、川竹 敬三
	川村 秀男、柴田 兵衛
	遠山 真人、鍋島 知行
	嶺本 昌行

◆法人事務局

事務局	局長 増田 貴治
総務部長	(以下大学同役職兼ねる)
	堀田 時弘
総務部長補佐兼経理課長	柴田 千登勢
総務課長兼人事課長	藤井 玲子
施設課長	小川 憲之
総務課長補佐	谷川 智代
企画広報課長補佐	奥田 緑

◆大学

学 長	山極 完治
副学長	成田 良一
経営学部長	長南 仁
地域ビジネス学科長	浅生 卯一
人間学部長	山本 正彦
人間健康学科長	石川 幸生
子ども発達学科長	古市 久子
図書館長	浅生 卯一
情報システムセンター長	高木 靖彦
学修教育支援センター長	山極 完治
学修教育支援副センター長	澤田 節子
地域創造研究所長	井上 秀次郎
入試委員長	深谷 和広
教育支援委員長	矢藤 誠慈郎
キャリア支援委員長	井上 秀次郎
生活支援委員長	小野 隆生
図書館委員長	浅生 卯一
情報システム委員長	高木 靖彦
地域国際交流委員長	高木 秀紀
総務委員長	杉谷 正次

◆大学事務局

事務	長 堀田 時弘
学務部長補佐兼入試課長	前田 喜夫
学修支援課長	齊藤 周一
生活支援課長	二宮 加代子
入試課長補佐	村上 道治
学修支援課長補佐	新村 健
生活支援課長補佐	阪口 将史
就職課長補佐	貫名 正樹

情報課長補佐 河村 宜明
図書館課長補佐 黒柳 好子

◆高等学校

校長	山極 直樹
教頭	市丸 民治
	長沼 均俊
校務部長	寺島 多岐夫
教務部長	川邊 雅志
生活指導部長	高倉 清文
事務部長	松浦 紀代史
課長	袴田 克彦
渉外企画室長	小嶋 裕人
進学指導室長	萩原 永
職業指導室長	大島 正和
国際交流室長	河野 芳江
保健指導主事	渡邊 素幸
メディアセンター長	森井 勝也
生徒会正顧問	岡本 洋美
学年主任第1学年	佐々木 泰裕
学年主任第2学年	加藤 元雄
学年主任第3学年	中林 幹雄
教科主任	国語科 吉山 奈緒子
	社会科 木村 剛
	数学科 水谷 光博
	理科 小島 大介
	保健体育科 谷 浩美
	芸術科 竹田 正充
	英語科 松原 聡子
	家庭科 山田 博子
	商業科 大上 雄示



愛知東邦大学—— 経営学部地域ビジネス学科・人間学部人間健康学科・人間学部子ども発達学科

◆オープンキャンパス

7 / 12 (日)・7 / 26 (日)・8 / 5 (水)
8 / 21 (金)・9 / 13 (日)・10 / 10 (土)

◆講演会

と き：11月19日(木) 14:10～16:50

と ころ：ホテル名古屋ガーデンパレス

(名古屋市中区錦3丁目11-13)

第1部講演 「COP10と私たちの暮らしのつながり」

講演者：浅野智恵美 氏 (環境カウンセラー)

第2部講演 「地球温暖化防止の環境経済戦略」

講演者：植田 和弘 氏

(京都大学大学院経済学研究科教授)

入 場 料：無料

お申込先：愛知東邦大学地域創造研究所

TEL 052-782-1241

FAX 052-781-0931

E-mail kenkyujo@aichi-toho.ac.jp

◆大学祭

11 / 21 (土)・22 (日)

東邦高等学校—— 普通科(普通・文理特進)・商業科(経理・情報・グラフィックデザイン)・美術科

◆美術科夏季講習会

7 / 28 (火)、7 / 29 (水)

◆普通科・商業科 夏休み1日体験セミナー

8 / 4 (火)、8 / 5 (水)

◆部活動見学会

9 / 5 (土)

◆文化祭

9 / 26 (土)

◆未来の芸術家たち展

10 / 20～10 / 25

東邦学園同窓生 特別入試がはじまります

同窓生の皆さん、お子さんの愛知東邦
大学入学金を半額にします。

このたび愛知東邦大学・東邦学園大学・東邦学園短期大学・東邦高等学校の卒業生ならびに在校生の子またはきょうだいに対して特別入試を実施することになりました。一般入試に比べ条件も有利です。ぜひこの機会にご利用ください。

【お問い合わせ】

愛知東邦大学 学務部入試課

電 話：052-782-1600

F A X：052-783-2600

◆学校説明会

10 / 24 (土)、11 / 7 (土)、11 / 14 (土)、
11 / 28 (土)、12 / 5 (土)

◆英語スピーチコンテスト

10 / 31 (土)

【お問い合わせ】

東邦高等学校 電話：052-782-1171



TOHO gallery 東邦ギャラリー



名東の日 (関連記事 16 ページ)



大学入学式 (関連記事 5 ページ)



エベレット研修 (関連記事 18 ページ)



吹奏楽部 (関連記事 20 ページ)



先輩インタビュー
山口翔悟さん (関連記事 14 ページ)

まっすぐに
じぶんをみつめ
めざす未来

「真面目な実業人の育成」という
建学の理念がキャッチフレーズに

